

平成24年度自己評価シート(中間評価まとめ)

校番	209	学校名	呉市立呉高等学校	校長氏名	越智博司	全日制	本校
----	-----	-----	----------	------	------	-----	----

1 今後の改善方策

(1) 進路実現できる学力の向上

ア 教員の指導力の向上

- 教員の指導力の向上に向け「言語活動の充実」に係る研修及び実践を積み重ねていく。そのための機会として、9月から12月にかけて行う公開授業研究等を活用する。
- 特進クラスの導入から1年半が経過したこともあって、これまでの検証を連絡会議という形ではなく推進委員会を設定して行う。
- 難関大学の対策については、次の3点を行う。①1年次から志望を意識させる。②授業時の状況や模試の結果等を綿密に分析し学習指導を行う。③難関大学対策についての研修会を行う。

イ 自律的学習者の育成

- 朝学習については、特進クラスのホームルーム教室を会場として、進路指導部が中心となり、教務研修部や生徒指導部とも連携して朝学習の推進を行う。
- 学校図書館経営計画を早期に策定し、研修会等を通して教職員への周知徹底を図る。
- 朝読書の意義についてさまざまな機会を通して生徒に意識づけるため、学年会等での取組みを促す。加えて図書委員会からの呼びかけをより活発にする。

ウ 模試に対する指導体制の充実

- 概ね順調であり、取組みを継続する。

(2) 自立した社会人としての規範意識や社会性の涵養

ア 自立した生徒の育成

- 遅刻撲滅キャンペーンは2学期以降も実施予定である。1学期はキャンペーンの単独実施だったが、今後は生徒会のあいさつ運動などとも連携し、内容の充実を図りたい。授業規律徹底キャンペーンは個々の授業の様子を把握して対応していく。
- 生徒指導規程にもとづく共通理解事項は、生徒指導部が主体となって学年会等で広報し、共通理解を図る。

イ 生徒会主体の行事の充実

- 生徒会主体行事については、生徒満足度の高さだけにとらわれず、教職員の助言を生かし、次年度に向けて行事内容を改善していく。

ウ 「産業社会と人間」「フロンティアⅠ・Ⅱ」の充実

- 「産業社会と人間」及び総合的な学習の時間の授業アンケートの結果(中間)を生かし、今後の授業計画に反映させる。

エ 教育相談活動の充実

- いじめアンケートが期末考査中の教育相談に生かせるよう、11月中に実施する。

(3) 部活動の充実

ア 部活動実績の向上

- 順調であり、継続して取り組む。

イ 部活動の活性化

- 顧問の見取りと生徒の出席状況集約に差異がある。活発に活動している生徒の割合について明確な判断基準を設けるよう今後検討する。

(4) 学校情報等の積極的発信及び学校や地域社会、各種団体等への貢献

ア 学校情報の積極的な発信

- 分掌・学年の情報発信の年間計画を一覧にして校内で発行予定を共有し、連携して組織的に内容の充実及び発行機会の効果的な活用をすすめる。

イ 地域や社会に貢献しようとする態度の育成

- ボランティア活動の広報について、視覚に訴える、参加者の声を伝える、多種多様なボランティアがありさまざまな役の立ち方があることを伝えるなど、生徒による広報をさらに充実させる。
- 次年度に向けて、ボランティア活動についての生徒会活動・ホームルーム活動の年間指導計画を検討する。

ウ 保護者や学校関係者評価委員からの教育活動の肯定的な評価

- 保護者への中間評価の報告は、自己評価シートをHPに掲載するとともに、保護者を対象にした資料を別途作成し、懇談会で配付して行う。

2 学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策(学校関係者評価実施後に記入する。)

読書活動の充実については、来年度の4月当初に、朝読書の導入として、読書に対する抵抗感をなくし読書への意欲を高める取組みを実施する。

教職員間の共通認識と情報共有の徹底を図り、各項目の取組みが教職員全員のものとなりえるようにする。